

## えぐちーず

(部内資料)

連絡先 ●日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax3412-7480 メール eguchi@jcp-setagaya.jp

●江口 じゅん子事務所 宮坂3-33-15 窪田ハイツ1階 TEL3425-3676

2013年4月23日

4月20日(土)烏山区民センターで、日本共産党演説会が行われました。以下、その様子をご紹介します。



### 会場いっぱいの 360人が参加!

当日は、笠井 あきら衆院議員、都政に挑戦する里吉 ゆみさん、応援弁士4人が訴えました。



笠井衆院議員は、暮らしと経済、原発、外交について、安倍自公政権の問題や日本共産党の立場を語りました。

#### 笠井議員の発言より

「暮らしと経済の問題では、アベノミクス効果と言っても、130兆円お金を増刷しても使えるのは大企業と大金持ちだけ。

値上げラッシュで国民の暮らしは悪くなっています。

国土強靱化といって、外環道などに200兆円ものお金を使えば借金が増えるだけ。

成長戦略とは、解雇やただ働きが自由にできる国づくりだ」と指摘をしました。



里吉 ゆみさんは、「私が都議会で実現したいこと」を4つの柱で述べました。

#### 里吉 ゆみさんの発言より

「私は、子どもの命と健康を何より大切にする東京・子育て安心の東京を作ります。

子どもを放射線から守る、認可保育園の大量増設に取り組みます。

また、誰もが安心して暮らし続けることが出来る東京を作ります。

私は区議として、給田の特養ホーム実現に力を尽くしてきました。特養ホーム・障がい者グループホーム増設に取り組みます。

青年が希望を持って暮らせる東京の実現、地域経済の活力を取りもどすことに、力を尽くしていきます。」

応援弁士の1人で、船橋在住の子育てママが発言しました。

日本共産党世田谷地区委員会は、4月12日～14日に「被災地復興支援バスツアー」を行いました。

参加者から手記が寄せられましたので、以下ご紹介します。



## 「復興支援バスツアー」 に参加して」

宮坂在住 Y・K

日本共産党世田谷地区委員会災害対策委員会主催の「復興支援バスツアー第2弾」に参加しました。

25名の参加者で、宮城県松島南三陸、石巻等を周って来ました。今回は、買い物等を通じて支援する目的のツアーです。

私は2日目までの参加でした。

1日目、東松島にある仙石線野蒜駅を見ました。

東日本大震災の津波によって大きな被害を受け今も残骸のままの姿でした。

送電線の鉄塔の柱がねじ曲がっており津波の凄まじさを感じました。(右写真)



2日目は、南三陸町に行きました。

瓦礫は片付けられていましたが、あたり一面、建物の土台だけが残り津波の被害の大きさを感じました。

ある場所にパン屋さんの名前が書いてある看板を立ててあり、かつてはここにパン屋さんがあったんだと分かりました。

ここで生活の営みがあったんだと思うと言葉が出ませんでした。

防災庁舎に行き、参加者で献花をし、黙祷を捧げました。防災庁舎は鉄筋3階建てですが、骨組みしか残っておらず、(ノ)

玄関入口に「防災庁舎」とくっきり名前が残っていなかったら何の建物か分からないくらいです。(下写真)



屋上に無線のアンテナが残っていました。

ここで最後まで避難を呼び掛け続けた職員が津波にのまれ亡くされました。

二度とこのようなことが起きてほしくありません。

南三陸さんさん商店街では、地元のお店(魚屋、飲食店、電気屋、写真屋、美容室など)があり、お魚や笹かまぼこなどを買いました。



石巻の市議補選が4月14日に告示されるということで、応援カンパ3万円を現地に届けました。

現地の党のボランティア拠点にも立ち寄りしました。そこは、大きな倉庫で全国から支援物資が集まったそうです。

今回のツアーを通じて、大変な被害を実感するとともに、自分の住んでいる地域の防災対策はどうなっているのか、何をしていかなければならないかを考え、実行する必要があると感じました。